

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 28

所管部局	企画管理部	所管課	情報推進課	担当者名	矢田 浩一
事業名	広聴活動費			事業分類	ソフト事業
細事業名	広聴活動費			政策体系	434
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 2.文書		

1. 事業の概要

市政懇談会の開催。出前講座の開催。南丹市政へのご意見箱の設置。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

市民ニーズを認識し行政サービスの向上を図る。

②事業を実施する必要性

市政懇談会では、市のまちづくりの方針を市民に伝えるとともに、市民の声を直接聞き、「市民の参画と協働」によるまちづくりを進める。地域づくり出前講座は、おおむね10人以上の団体の集まりで地域づくりに役立てていただくため、市職員が講師として出向き、市の事業や施策などについて説明する。これらの事業を実施することにより、市民ニーズを認識し行政サービスの向上が図れる。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円			73	55	34	34	34
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円			0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円		0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円		0	0	0	0	0
	地方債	千円		0	0	0	0	0
	一般財源	千円			73	55	34	34
職員等の従事人員	人/年	—	—	1.10	1.00			
人件費	千円	—	—	6,909	7,496			
事業費総額	千円	—	—	6,982	7,551			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

市政懇談会会場使用料	33,600円
ご意見箱購入費	21,168円

5. 事業結果の概要

市政懇談会	8会場で開催
出前講座	5回開催

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 市政懇談会		
8会場で開催。「共に語ろう、これからのまちづくり」をテーマに、市民からの意見や要望を聞く懇談中心の内容で実施。	10月20日、10月26日、11月4日、11月6日、11月17日、11月19日、11月24日、11月25日	10月20日64人、10月26日50人、11月4日28人、11月6日30人、11月17日32人、11月19日32人、11月24日56人、11月25日71人
(2) 出前講座		
市の職員が講師として会議や集会に出向き、市の事業や施策などについて説明。34テーマ。	4月18日、6月25日、7月29日、11月26日、12月14日	4月18日15人、6月25日17人、7月29日19人、11月26日27人、12月14日20人
(3) ご意見箱		
市長にご意見・ご提言をお寄せいただき、市政に生かす。市民の皆さんと情報を共有するため、広報なんたんや市ホームページに市からの回答と併せて紹介する。	市ホームページや窓口（4カ所）に「ご意見箱」を設置し随時受付	49件受付。広報なんたん2・3月号にQ&Aを掲載

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

「市政懇談会」については、開催時期・開催回数・内容について検討を重ね、行政からの説明中心の懇談会から市民と行政との意見交換に重点を置いたことにより、地域の課題やこれからのまちづくりについて共に考え合う懇談の場が持てた。併せて、市のホームページや本庁及び各支所に「ご意見箱」を設置し、市政に対する意見や提言を数多くいただき、今後の市政運営の参考になった。

今後は、「市政懇談会」「出前講座」とともに、開催案内やアンケート集計結果等を広報紙等で広く市民に情報提供し、市民参加へと繋げていく必要がある。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
市民の生の声を聞くため、より多くの広聴の機会を設定する方法を検討した。
- ②当該事業のアピール事項
行政懇談会では市幹部が市政の課題について説明し、直接市民の声を聞くことができた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
市政懇談会の開催日時、会場設定、テーマ、参加者の再検討。